

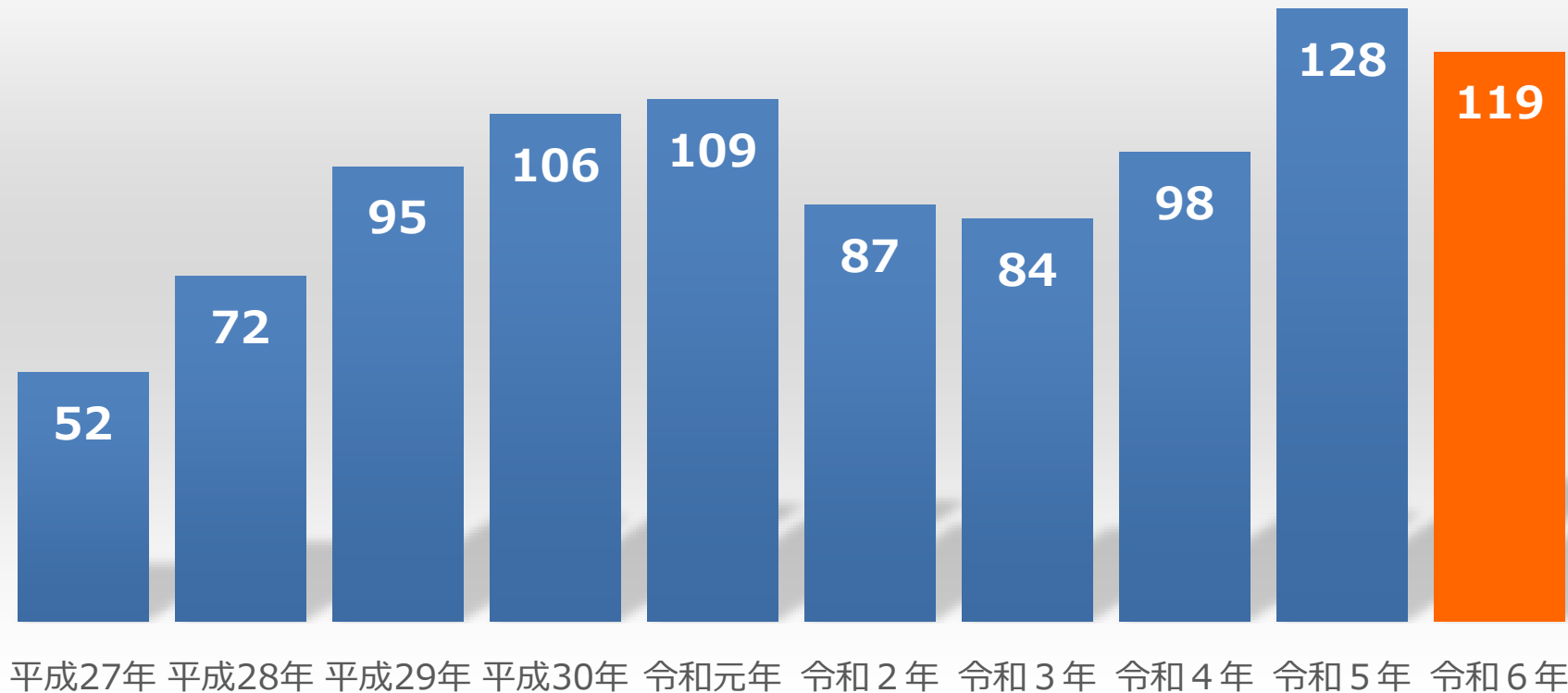
令和7年(2025年)9月2日
滋賀県庁しごとガイダンス
ビワイチ推進室
道路保全課

ビワイチの取組 について



1. 現状と課題(体験者数の推移)

ビワイチ体験者数（千人）

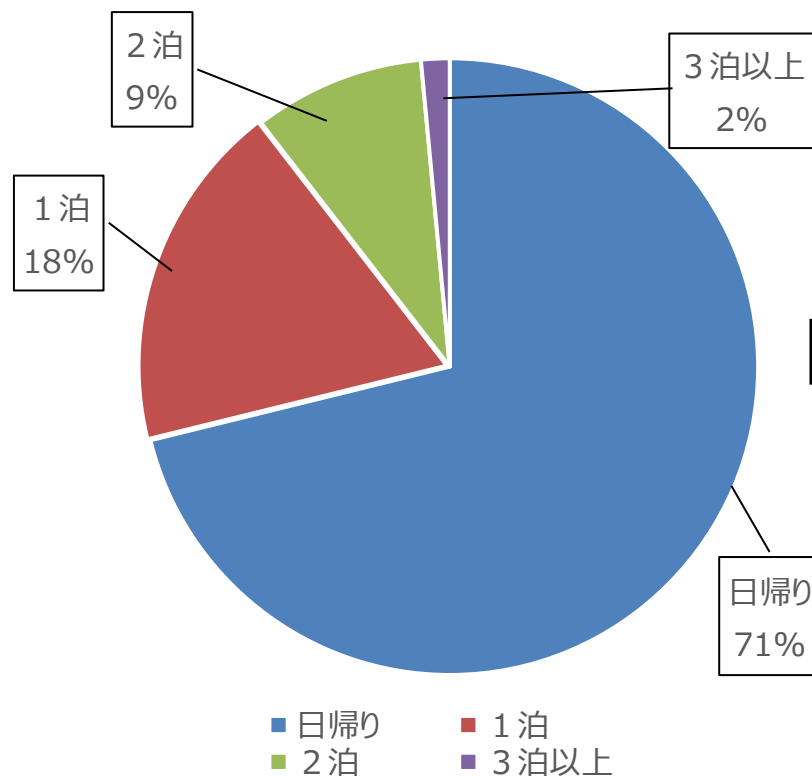


令和6年は、コロナ禍前の最高値である令和元年を越え、過去2番目

1. 現状と課題(旅行日程)

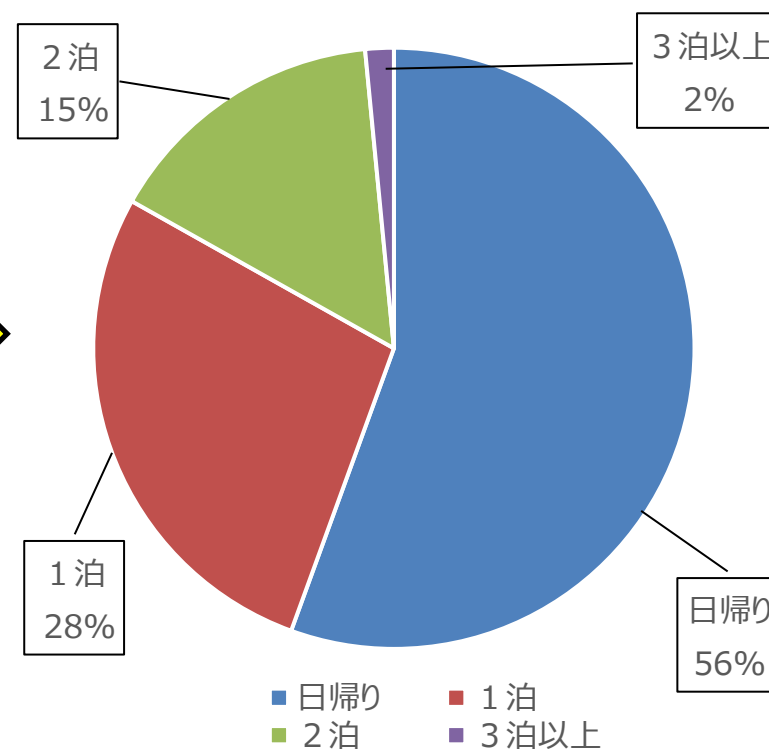
令和5年

ビワイチ体験者アンケート回答者数 267人
「ビワイチサイクリングナビ」アプリの利用者による調査



令和6年

ビワイチ体験者アンケート回答者数 267人
「ビワイチサイクリングナビ」アプリの利用者による調査



宿泊の割合が増加
(R5) 29% ⇒ (R6) 44%

1. 現状と課題(居住地)

令和5年

ビワイチ体験者アンケート回答者数 267人

「ビワイチサイクリングナビ」アプリの利用者による調査

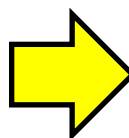
地方	都道府県	人数	割合
滋賀県		121	45.3%
その他近畿地方	京都府	32	12.0%
	大阪府	31	11.6%
	兵庫県	9	3.4%
	奈良県	9	3.4%
	和歌山県	1	0.4%
中部地方	愛知県	18	6.7%
	岐阜県	16	6.0%
	三重県	6	2.2%
	静岡県	1	0.4%
関東地方	神奈川県	2	0.7%
	茨城県	1	0.4%
	群馬県	1	0.4%
	東京都	4	1.5%
	埼玉県	1	0.4%
	千葉県	3	1.1%
北陸地方	富山県	2	0.7%
	石川県	1	0.4%
	福井県	2	0.7%
中国四国地方	島根県	1	0.4%
	広島県	2	0.7%
	徳島県	1	0.4%
	高知県	1	0.4%
九州地方	宮崎県	1	0.4%
計		267	

令和6年

ビワイチ体験者アンケート回答者数 261人

「ビワイチサイクリングナビ」アプリの利用者による調査

地方	都道府県	人数	割合
滋賀県		90	34.5%
その他近畿地方	京都府	21	8.0%
	大阪府	49	18.8%
	兵庫県	6	2.3%
	奈良県	6	2.3%
	和歌山県	2	0.8%
中部地方	愛知県	23	8.8%
	岐阜県	12	4.6%
	三重県	9	3.4%
	静岡県	3	1.1%
関東甲信越地方	神奈川県	5	1.9%
	群馬県	1	0.4%
	東京都	8	3.1%
	埼玉県	4	1.5%
	山梨県	1	0.4%
	新潟県	1	0.4%
	長野県	1	0.4%
北陸地方	富山県	5	1.9%
	石川県	5	1.9%
	福井県	4	1.5%
中国四国地方	広島県	1	0.4%
	岡山県	2	0.8%
海外		2	0.8%
計		261	



- ・県外の割合が増加している。(R5)45.3% ⇒ (R6) 34.5%
- ・県外では、滋賀から近い近畿地方、中部地方からの割合が高い。

1. 現状と課題(アプリ利用者)

ビワイチサイクリングナビアプリは、自転車で滋賀県内の周遊をサポートするアプリで、ルートプランニングやナビゲーション、観光ガイドの機能を提供(平成30年度開始)。

アプリ利用者のうち、女性の利用割合が17%。

アプリ開始時期

H30年度開始

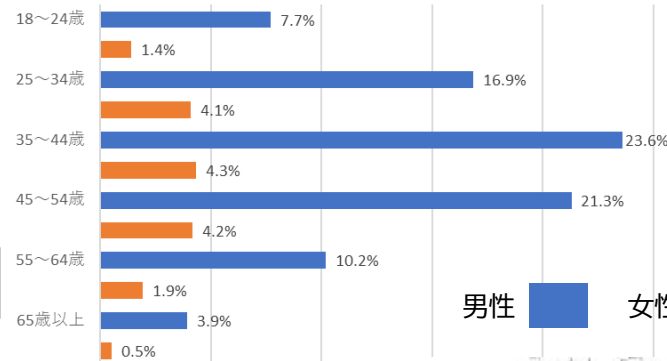
ダウンロード数

72, 579件(R7.5月末)

GPSデータによる走行軌跡

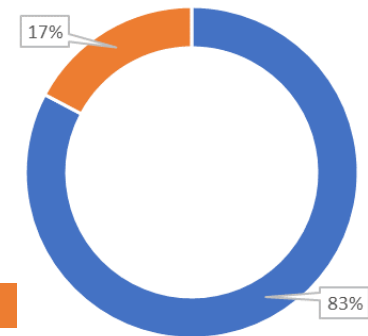
利用年齢層

(令和5年1月～11月23日)

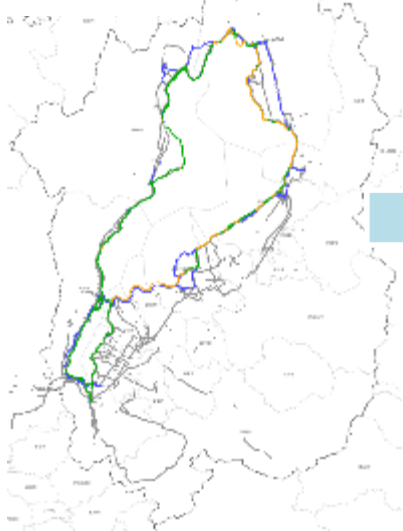


性別構成

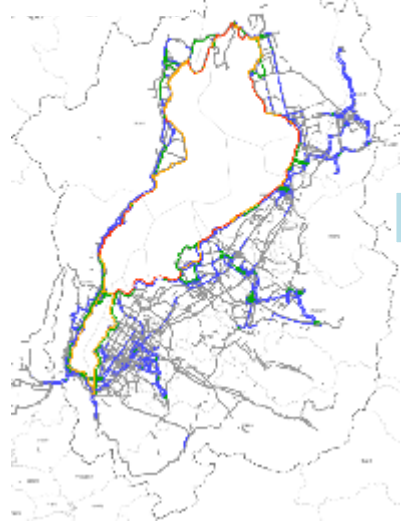
(令和5年1月～11月23日)



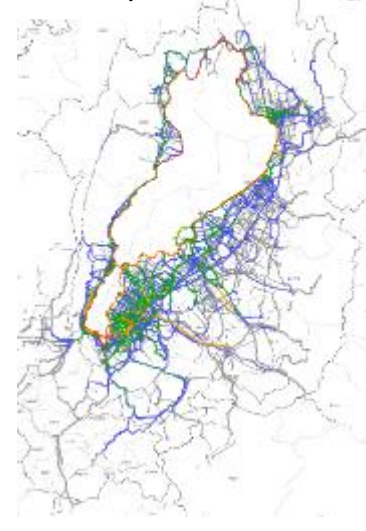
2020年



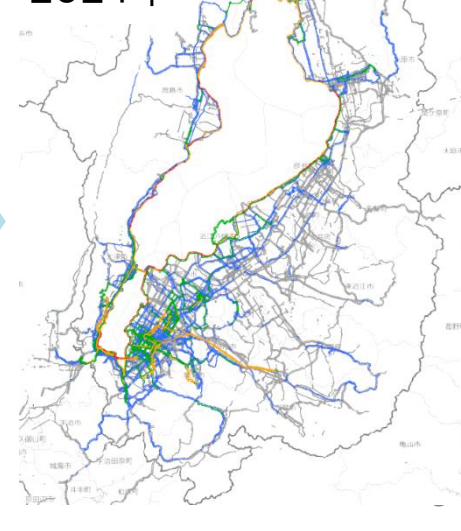
2022年



2023年



2024年



1.現状と課題(認知度)

琵琶湖一周「ビワイチ」ルートについて

項目	人数(人)	割合(%)
「ビワイチ」ルートをサイクリングしたことがある	34	13.6%
知ってはいるが、サイクリングをしたことはない	167	66.8%
知らないし、サイクリングをしたこともない	49	19.6%
合計	250	100%

R6.5 県政モニターアンケート【県民向け】

項目	人数(人)	割合(%)
「ビワイチ」ルートを知っており、体験もした	24	2.4%
「ビワイチ」ルートを知っているが、体験はしたことがない	73	7.3%
「ビワイチ」ルートを知らなかったが、体験はした	15	1.5%
「ビワイチ」ルートを知らないし、体験もしたことがない	888	88.8%
合計	1,000	100%

R6.6 しがwebアンケートプラス調査【県外向け】

滋賀県内でサイクリングをしている人の交通ルール遵守や走行マナーに対する印象

項目	人数(人)	割合(%)
交通ルールや走行マナーの遵守はできている（できている人が多い）	88	35.2%
交通ルールや走行マナーの遵守はできていない（できていない人が多い）	86	34.4%
わからない	76	30.4%
合計	250	100%

R6.5 県政モニターアンケート

1.現状と課題(「ビワイチ・プラス」ルート)

「ビワイチ・プラス」ルート

県内各地の観光地、景勝地等の観光資源を自転車で周遊するもので、県内全市町を經由する11ルート(総距離635Km)を設定(令和元年12月)



1.現状と課題(施策の展開)

主な課題

- ・経済波及効果(宿泊など観光消費)の拡大を促すサークルツーリズムの展開
- ・子どもや女性など誰もが楽しめる周遊観光の魅力創出
- ・サイクリストのマナーの向上



施策の内容

ビワイチ推進条例に基づき、誰もが楽しめるビワイチを目指し、以下の4つの柱のもと施策を展開

①魅力向上と創出

観光資源の磨き上げや新たな観光コンテンツの創出、サイクリストと地域住民の相互理解のためのマナー向上に取り組む。

②受入環境整備

より良い走行環境を整備するため、ハード・ソフト両面から取組を進める。

③魅力発信

「ビワイチ」を多くの人に注目してもらえるよう、国内外に向けてのプロモーションに取り組む。

④推進体制強化

効果的な取組を推進するため、ビワイチ推進関係の体制強化を図る。

「だれでも」、「いつでも」、「どこでも」楽しめるビワイチを目指します！ ⁸

2. ビワイチ施策の推進について

ビワイチ推進条例の制定(令和4年3月)

滋賀が誇る観光資源であるビワイチの魅力を高め、本県の観光の振興および活力ある地域社会の実現に寄与することを目的とする条例。(令和4年4月に施行)

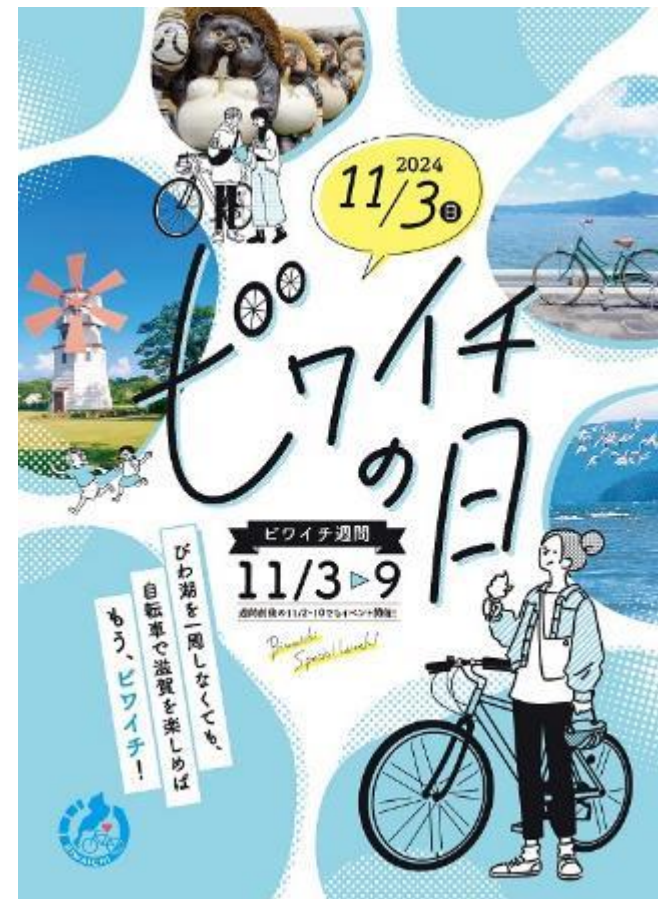
「ビワイチの日」および「ビワイチ週間」の設定(条例第20条)

県民、ビワイチ関係事業者、ビワイチ推進関係団体等の間に広くビワイチについての関心と理解を深めるとともに、ビワイチへの意欲を高め、愛着と誇りを育むため、ビワイチの日(11/3)およびビワイチ週間(11/3～11/9)を設ける。

ビワイチ推進基本方針の策定(条例第11条)

条例の基本理念の実現に向け、ビワイチ推進施策を総合的かつ計画的に推進するため策定。(令和4年11月)

地域を代表する観光ブランドの一つとして「ビワイチ」の取組を加速化し、国をはじめ市町、県民、関係事業者・団体等の多様な主体とこれまで以上に連携しながら、本県の観光の振興を図り、活力ある地域づくりを進めるとともに、世界から選ばれるサイクルツーリズムの展開を目指し、県民の皆様とともに取組を進める。



3.魅力向上と創出(「ビワイチの日」「ビワイチ週間」)

「ビワイチの日」「ビワイチ週間」の取組

「ビワイチの日」(11月3日)および「ビワイチ週間」(11月3日から11月9日)を設け、市町・関係団体と連携し、この趣旨にふさわしい取組を展開。



記念ライド、「ビワイチの子ツアー出発式」



エイドステーション



メディアによる取材

令和6年度のエイドステーション来場者実績 (1日あたり 863人)

		11月2日 (土)	11月3日 (日)	11月4日 (月)	合計
ふるなびトラベルエイド(ピエリ守山)	守山	—	191人	149人	340人
湖岸緑地 南三ツ谷公園	彦根	—	199人	189人	388人
道の駅 湖北みずどりステーション	長浜	—	426人	155人	581人
STAGEX高島	高島	—	224人	193人	417人
合計		荒天中止	1,040人	686人	1,726人

3.魅力向上と創出(「ビワイチの日」「ビワイチ週間」)

「ビワイチの日」「ビワイチ週間」の取組

シガパークとの連携

ゲストライドの後、「THEシガパークフェスタ2024」の会場にてステージイベントに登壇



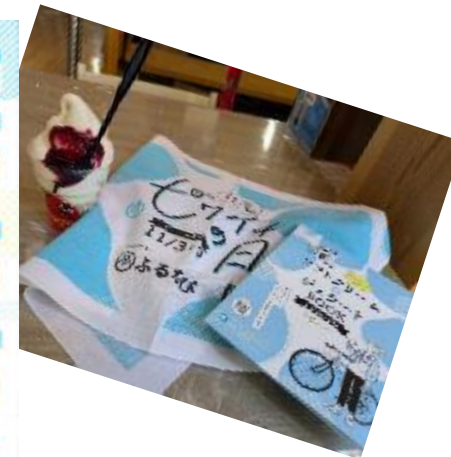
トークショー



じゃんけん大会

市町・事業者との連携

ビワイチ週間に合わせ、県内30の店舗でソフトクリームやジェラートと交換できる「周遊チケット」を数量限定で販売。



3. 魅力向上と創出(子どものビワイチ体験)

子どものビワイチ体験の促進

自転車の試乗体験会の定期的な開催や、子ども向けビワイチ体験ツアーの実施など、ビワイチ体験を促進。

希望が丘文化公園における試乗体験



様々なタイプの自転車を親子で体験



子ども向け乗り方教室

子ども向けサイクリング体験ツアー



「ビワイチの日」(11/3)に、子ども向けのサイクリング体験ツアーを実施。出発前には地元チアリーディングによる応援を実施。

3. 魅力向上と創出(観光資源の活用)

県内各地の魅力ある観光資源を活用したデジタルスタンプラリー、サイクリングマイレージ等の実施により、身近な地域における自転車散策を推進。

デジタルスタンプラリー



【北の近江】

期 間 令和7年4月26日～6月29日

参加者 **664人**(うち、景品応募者数 85人)

主催 滋賀プラス・サイクル推進協議会

協力 長浜市、高島市、米原市、富山県、石川県、福井県



【近江八幡市】

期 間:令和6年10月17日～11月17日

参加者 **482人** (うち、景品応募者数 131人)

主催:近江八幡市、滋賀プラス・サイクル推進協議会



【シガパーク】

期 間:令和6年10月17日～11月17日

参加者 **554人** (うち、景品応募者数 65人)

主催:滋賀プラス・サイクル推進協議会



過年度実施エリア:

大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、野洲市、高島市、東近江市、米原市、日野町、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町

ビワイチサイクリングマイレージ

「ビワイチサイクリングナビ」アプリを使って、走行距離に応じて貯まる走行ポイントと対象地点に行くと貯まる地点ポイントを貯め、貯まったポイントを使って景品に応募できる機能。

3. 魅力向上と創出(安全な利用に関する取組)

地域住民や歩行者、サイクリストの安全を確保するため、交通事故防止に向けた自転車の安全な利用の啓発等の実施。

マナー向上への啓発

啓発資材を作成し、警察署と連携して県内各地で実施する街頭啓発において配付するなど安全な利用に向けた取組を実施。



サイクリストの心がけ



© 原田 尚/講談社



様々な媒体を活用

4. 受入環境整備(拠点施設等の整備)

魅力ある観光地を形成するため、サイクルサポートステーションや「滋賀県サイクリストにやさしい宿」などの拠点施設の整備を促進。

サイクリストが安全・快適にサイクリングできるよう、途中返却拠点の増加など、利用しやすいレンタサイクル環境の整備を促進。

サイクルサポートステーション

トイレの利用やスポーツバイクに対応した空気ポンプ・工具の貸し出しサービスなどを提供する拠点。(令和7年6月末現在 364か所)



「滋賀県サイクリストにやさしい宿」

自転車の客室への持ち込み、または屋内の安全な場所における保管などの要件を満たした宿泊施設。(令和7年6月末現在 60施設)



4. 道路環境整備

ルート整備の考え方

○初級・中級者(家族連れなど)と、上級者(アスリートなど)を対象に2つのルートを設定

- ・初級・中級者向けの「**低速コース**」と上級者向けの「**上級コース**」

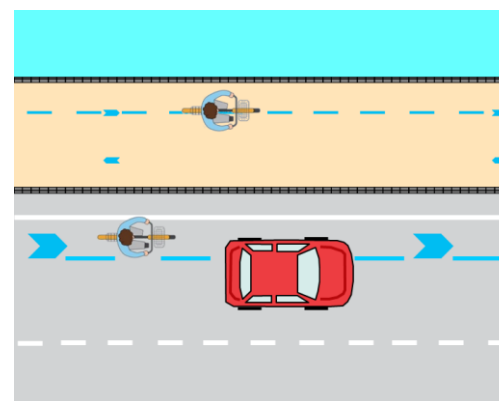
「低速コース」(ナショナルサイクルルート)



自転車歩行者専用道路
10,000 台以上/日



車道混在
10,000 台未満/日



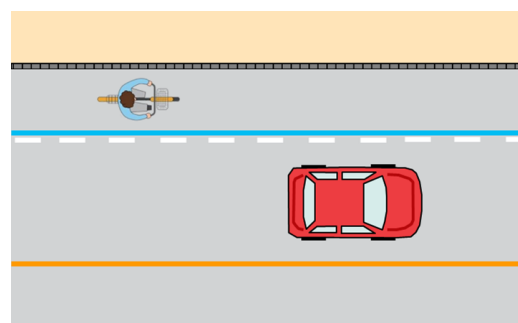
自転車歩行者専用道路

車道混在

「上級コース」



自転車通行帯



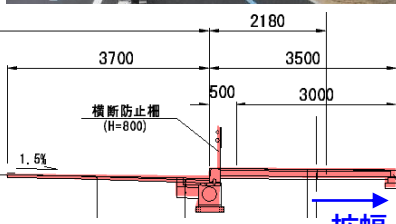
自転車通行帯

4. 道路環境整備 事例

「低速コース」(ナショナルサイクルルート) : 自転車歩行者専用道路

○植栽帯スペースや、公園などのインフラ施設用地を活用し、歩道等を拡幅

公園用地を活用



①近江八幡大津線
大津市玉野浦～大萱六丁目

196 km



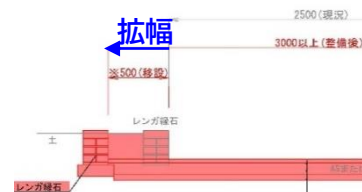
③余呉川右岸河川管理用道路
長浜市木之本町

河川管理用道路を活用



②大津能登川長浜線 長浜市平方町

植栽帯スペースを活用

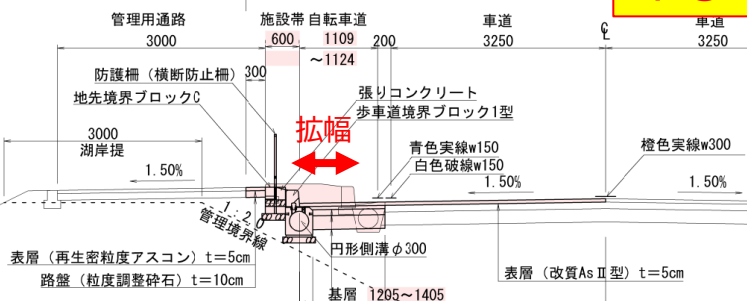


4. 道路環境整備 事例

「上級コース」: 自転車通行帯

○植栽帯スペースを活用し、路肩を拡幅

187km



③大津能登川長浜線 長浜市平方町



①近江八幡大津線 草津市北山田町



目標 (2026年): 32km
整備済 (2024年): 26km



②近江八幡大津線 野洲市菖蒲

植栽帯スペースを活用



4. 道路環境整備 事例

案内看板・路面表示の整備

- ・ルート全線で青破線の路面表示によるルート案内
- ・看板・路面表示を設置
- ・主要施設までの距離を示す案内を設置
- ・距離標は終点までの距離を5kmごとに設置
- ・看板や路面表示は日英2か国語表記やピクトグラム化



分岐点看板



分岐点路面表示



主要目的地案内



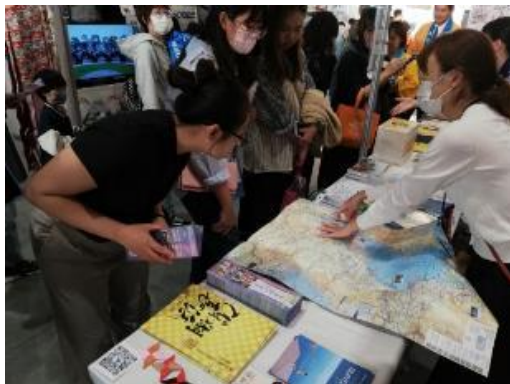
距離標

5. 魅力発信(国内外に向けた継続的な発信)



BIWAICHI
ビワイチ

ナショナルサイクルルート「ビワイチ」、気軽に地域に立ち寄りながらサイクリングを楽しむ「ビワイチ・プラス」を国内外に向けてプロモーションに取り組み、誘客につなげる。



「大台南国際旅行博覧会」 (左：R5. 11、右：R6. 11)



台南市とサイクルツーリズムに関する覚書締結



「台北サイクルショー」 (R6. 3)



台北プロモーションによるビワイチツアー造成

5. 魅力発信(国内外に向けた継続的な発信)



BIWAICHI
ビワイチ

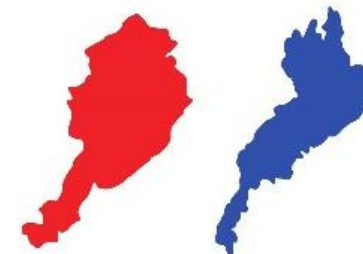


「フェリエンメッセ」
(R5. 3月@ウィーン)



ブルゲンラント州 (奥)
との覚書締結 (R5. 11)

AUSTRIA × BIWAKO



「ブルゲンラント・ロード」記念看板除幕式 (令和7年7月25日@安土城考古博物館)



6. 推進体制強化



BIWAICHI
ビワイチ

効果的な取組を推進するため、ビワイチ推進関係の体制強化を図ります。

官民連携プラットフォームの活用

ビワイチ推進施策は、国、市町、関係事業者、関係団体との連携・協力が不可欠であるため、プラットフォーム機能を担っている「滋賀プラス・サイクル推進協議会」による取組を活性化。

国内外の自治体との連携

ナショナルサイクルルート（NCR）が所在する自治体との連携や、海外自治体との交流を通じた魅力発信により、国内外からの誘客を促進。



NCR・オンラインミーティング（R4.10）

富山県との連携（R6.4）



NCR 4 知事によるライド（R6.10）



提供：サイクリングしまなみ2024実行委員会



福井県と連携した
魅力発信事業（R6.11）

北陸3県と@サイクルート大阪（R7.3）

